



令和 5 年度の連携取組の状況について

令和 6 年 2 月 9 日
九州地方環境事務所 地域脱炭素創生室



1. 令和6年度概算要求等説明会

- 関東経済産業局・関東地方環境事務所の主催により、YouTubeによる動画配信の形で、全国の地方公共団体等に対する**令和6年度概算要求等説明会**を開催。
- 九州・沖縄地域においては、動画配信に合わせて各地方支分部局の問合せ窓口を設置し、各事業の周知や連携した問合せ対応等を実施。

取組概要

○開催（配信）期間

令和5年9月27日（水）～10月20日（金）

○開催方法

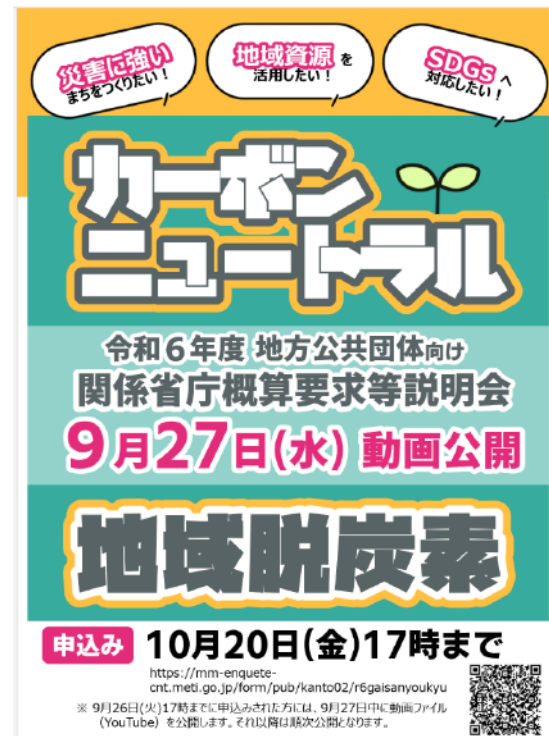
経済産業省YouTubeチャンネル（[metichannel](https://www.youtube.com/channel/UCmetichannel)）において動画を配信（申込者にリンクを送付）

○九州・沖縄地域からの参加団体数（アンケート結果より抽出した概数）

事業者 30社・団体
地方公共団体 98団体

○九州・沖縄地域での連携取組

九州ブロック、沖縄ブロックで事業毎での問い合わせ先窓口を設置
一覧表を[九州・沖縄地域脱炭素推進会議のウェブページ](#)で公開



災害に強い
まちをつくりたい！

地域資源を
活用したい！

SDGsへ
対応したい！

カーボン ニューデール

令和6年度 地方公共団体向け
関係省庁概算要求等説明会
9月27日(水) 動画公開

地域脱炭素

申込み 10月20日(金)17時まで
<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto02/régaisanyoukyu>
※ 9月26日(火)17時までに申込みされた方には、9月27日中に動画ファイル（YouTube）を公開します。それ以降は順次公開となります。



2. 地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業とのマッチングイベント



- 地方公共団体の課題と企業等のソリューションを結びつけるため、昨年11月、**地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業とのマッチングイベント**を熊本、沖縄にて開催。
- 今年度は新たに企業ブースを新設するとともに、熊本会場ではパネルディスカッションも実施。

取組概要

熊本開催

○日時 令和5年11月14日（火）12:00～16:30

○場所 熊本市流通情報会館

○参加者（計**332**名）※昨対比+102名

・事業者 86社・4団体、273名
（うち、ブース出展35）

・自治体 26自治体、59名
（うち、ブース出展11）

○主催 九州地方環境事務所
共催 九州経済産業局
一般社団法人九州経済連合会

沖縄開催

○日時 令和5年11月21日（火）13:00～17:00

○場所 沖縄産業支援センター展示場

○参加者（計**149**名）※昨対比+79名

・事業者 55社・団体、113名
（うち、ブース出展21）

・自治体・大学 15自治体・大学、36名
（うち、ブース出展9）

○主催 九州地方環境事務所
共催 沖縄総合事務局
一般社団法人九州経済連合会

【参考】マッチングイベント当日の様子

熊本開催



沖縄開催



取組概要

○開催時期

令和5年11月14日（火）

○パネリスト（敬称略）

- ・株式会社球磨村森電力 代表取締役 中嶋 崇史
- ・一般社団法人九州脱炭素都市創出ユニット 理事 横尾 将
- ・環境省 大臣官房地域脱炭素事業推進課 課長補佐 河田 悠

○テーマ

「地域脱炭素の実現に向け、地方公共団体や企業に求められていることは？」



○パネルディスカッションの主な流れ

- 14：00～ パネリストの自己紹介／取組紹介
- 14：30～ テーマに関するディスカッション
- 14：50～ 質疑応答

○テーマに対するパネリストの意見（要点）

- ・中嶋様 「脱炭素経営は企業にとって必要不可欠。そのためにも、まずは行動し、小さな成功体験を重ねることが大事」
- ・横尾様 「脱炭素は、あくまで地域課題解決のツール。このツールを活用することで地域をバリューアップしていく」
- ・河田課長補佐 「地域住民を動かすことができるのは自治体の皆さん。様々なステークホルダーとの知恵と工夫で脱炭素ドミノを実現していく。」

マッチングイベント アンケート結果について①（熊本開催）

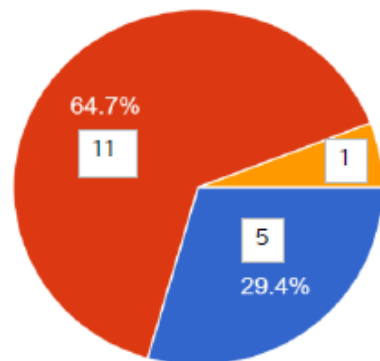
- マatchingイベントに参加した約9割の自治体及び民間企業・団体等が「有意義であった」と回答
- 良い点として、「案件形成につながった」「自治体側のニーズが聞けた」等の意見が複数あがった
- 改善点として、「時間が短い」や「自治体側の数が少ない、待ち時間が長い」等の意見があがった

マッチングイベントの満足度

○自治体 (N=17)

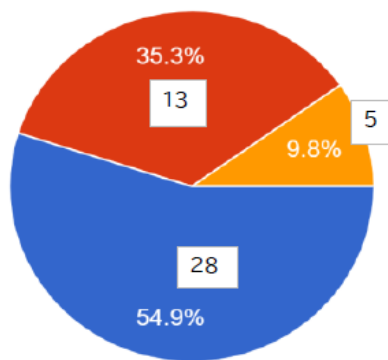
(凡例)

- 大変有意義だった
- まあまあ有意義だった
- 普通



約**95%**が
有意義と回答

○民間企業・団体等 (N=51)



約**90%**が
有意義と回答

【良い点】

- 多くの企業と接触することができた
- 自治体側との交流・ニーズ把握ができた
- 自治体のリアルな話を効率的に聞くことができた
- パネルディスカッションにて、生のコメントが聞けた
- 来年も開催してほしい／参加したい

【改善点】

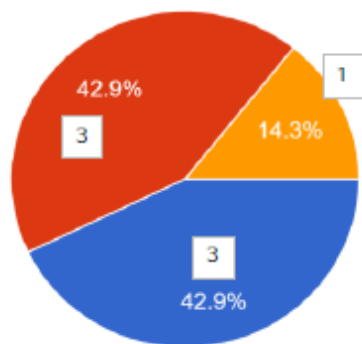
- 時間が短く、あまり接触できなかった
- マッチングの時間に制限を持たせたいほうがよい
- 自治体側が訪問できる時間や方法の模索
- 参加自治体が少ない／自治体ブースの行列
- パネルディスカッションの画面が小さく、見えない

マッチングイベント アンケート結果について②（沖縄開催）

- マatchingイベントに参加した約 9 割の自治体及び民間企業・団体等が、「有意義であった」と回答
- 良い点として、「多くの参加者と接触ができた」「自治体側の課題が聞けた」等の意見が複数あがった
- 改善点として、「自治体側の数が少ない」、「待ち時間が長い」等の意見があがった

マッチングイベントの満足度

○自治体・大学 (N=7)

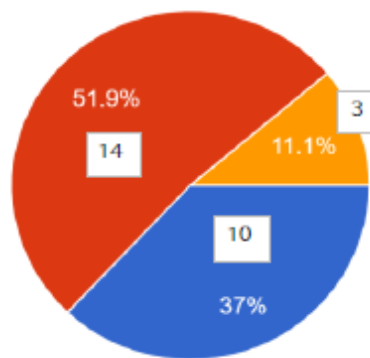


(凡例)

- 大変有意義だった
- まあまあ有意義だった
- 普通

約85%が
有意義と回答

○民間企業・団体等 (N=27)



約90%が
有意義と回答

【良い点】

- 多くの自治体・企業と接触することができた
- 脱炭素の実現に向けた自治体の課題を聞けることができた
- 他企業が脱炭素に向けた事業にどのように取り組んでいるか知ることができた
- 自治体及び企業と有益な意見交換ができた
- 今後も継続して開催してほしい／参加したい

【改善点】

- 希望する事業分野の企業ブースが少なかった
- ブース出展自治体数に対して訪問企業が多く、待ち時間が長かった
- 自治体側が訪問できる時間や方法の模索
- 参加自治体数が少ない

3. 令和5年度合同視察会の開催

- 11月27-28日の2日間、大分県日田市内を中心とした**合同視察会**を実施。
- 各地方支分部局より計16名が参加。
- 脱炭素の関係施設等の視察や事業者・自治体との意見交換を行い、地域のニーズ・課題を把握した上で今後各地方支分部局間の連携をより一層強化する目的で実施。

取組概要

○開催時期

令和5年11月27日（月）～11月28日（火）

○参加者

各地方支分部局若手職員を中心とした計**16名**
（両日参加者は11名）

○主な視察先

- ・道の駅鯛生金山（鯛生小水力発電所）
- ・田島山業(株)
- ・グリーン発電おおいた
- ・道の駅うきは

○昨年度との主な変更点

- ・若手～中堅層の支分部局間連携の更なる強化を目的に1泊2日の行程へ変更
- ・昨年度実施後アンケートでの要望を反映し、懇親会（任意）を行程に追加
- ・事業者および自治体との意見交換を実施



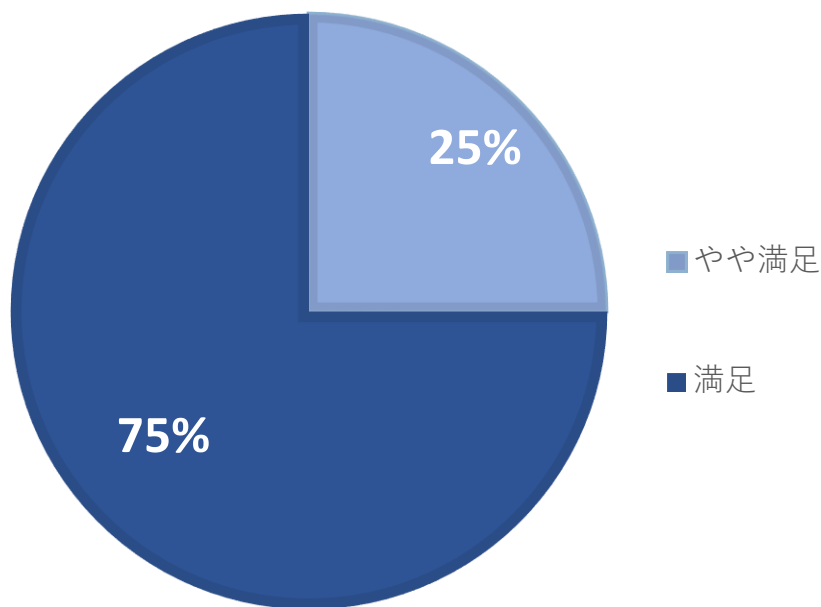
※田島山業(株)との集合写真

- 合同視察会参加者のうち、参加者全員が「やや満足」以上で回答。
- 満足度の理由としては、「視察先での現場視察や事業者との対話によりいい刺激になった」「地方支分部局間の連携により今後の仕事に活かそう」等の声を頂いた。

アンケート結果詳細

Q1 視察会の満足度について

N=8



Q2 満足度の理由

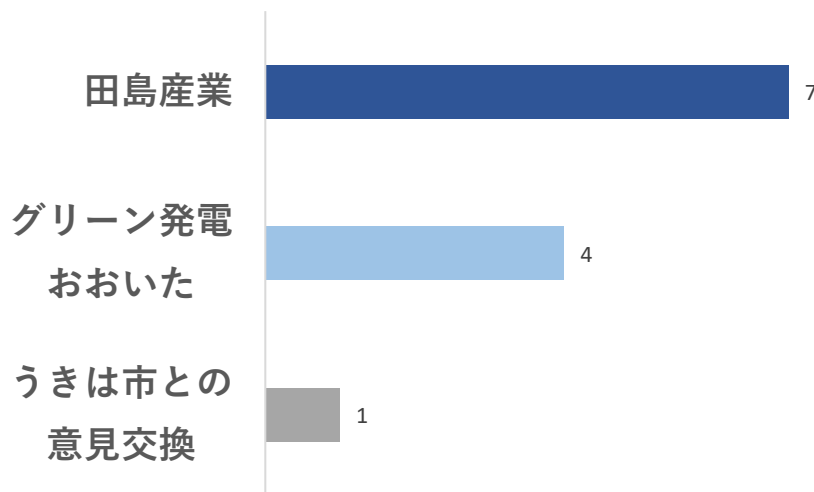
- 他分野の皆様のご意見を伺えて大変勉強になりました。
- 各視察先での取り組みや思いを知ることができ、大変いい刺激になりました。
- 様々な事例や生の声を聞くことができて大変有意義でした。
- 脱炭素化の取り組みの実態や隘路をより理解することができたため。
- 事業者の方とのリアルなコミュニケーションや他部局の方と関係構築ができて非常に有意義な視察会だったから。
- 現場で脱炭素の取組に尽力されている事業者や自治体の方々と直接ディスカッションさせていただき、知見が深まるとともに課題認識を強く持つことができました。
- 行政マンとして視野を広げることができた。支分部局間の意見交換の価値は高い。

アンケート結果

- 参考になった視察先としては、「田島山業(株)」が最も多く、次いで「グリーン発電おおいた」現地視察に加え事業者との対話を行うことにより、満足度も高くなるのではないかと思います
- 視察時間の長さに関しては、「ちょうどいい」が良かったものの、「長い」と回答したものが1件あり

アンケート結果詳細

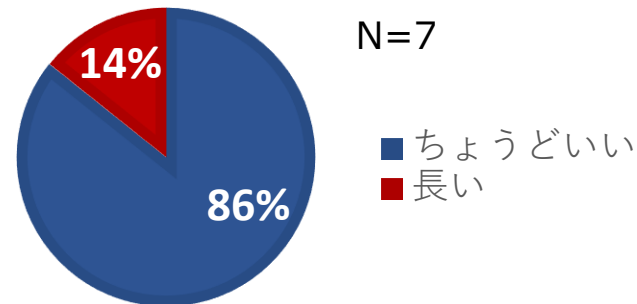
Q3 最も参考になった視察先（複数回答可）



Q4 Q3の理由

- 林業の課題が明確であった
- 官民の連携の重要性を理解した
- 事業者との生の声は非常に貴重であった

Q5 視察時間の長さ



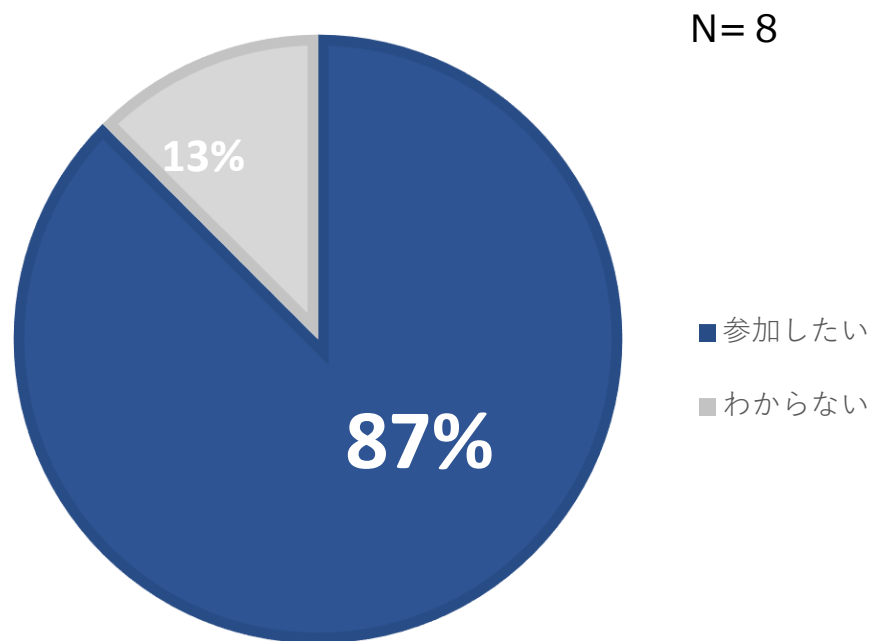
Q6 訪問したい設備について

- 水素関連設備
- 脱炭素先行地域に採択された設備や取組を視察したい
- 洋上風力発電設備、発電設備製造企業等
- 地熱発電所
- 再エネ事業者とステークホルダー間の中間支援組織
- 支分部局間の意見交換を重点的に。1日行程がありがたい

- 次回の参加意向については、87%が「参加したい」と回答。
- 参加者からの意見を踏まえ、開催日程および形式については、再検討の余地あり。

アンケート結果詳細

Q7 継続的な参加について



Q8 その他感想

○様々な部局から参加されていることで、幅広い視点から質疑応答があったことが興味深く印象的でした。自分では考えつかない切り口の質問や意見はものを見るうえでの参考になりました。

○環境事務所の皆様におかれましては、視察会や懇親会のご準備をいただき、ありがとうございました。全体としては、割とタイトな日程感ではありましたが、スムーズかつストレスなく移動・視察することができました。訪問先数については今回と同程度はあった方が良いと思います。

○参加人数も交流しやすくディスカッションにも適度な人数だったように感じました。次回以降、福岡、佐賀、長崎県内における適当な視察先があれば(当方も情報収集しますが)、追加いただけるとありがたいです。

○1日行程を2回実施など、参加しやすい機会を増やし、支分局間の連携を深めることもありではないか。

【参考】視察会の様子

田島山業(株)



グリーン発電おおいた



大分県様との意見交換



うきは市様との意見交換

